

# 島根原子力発電所周辺空間放射線量率 (県内モニタリングポスト)の測定結果について

鳥取県内の弓浜半島では、13カ所(固定局2、可搬型11)【図1-1】において、空間放射線量率を連続監視する装置で計測し、周辺環境に影響を与えていないかどうかを確認しています。

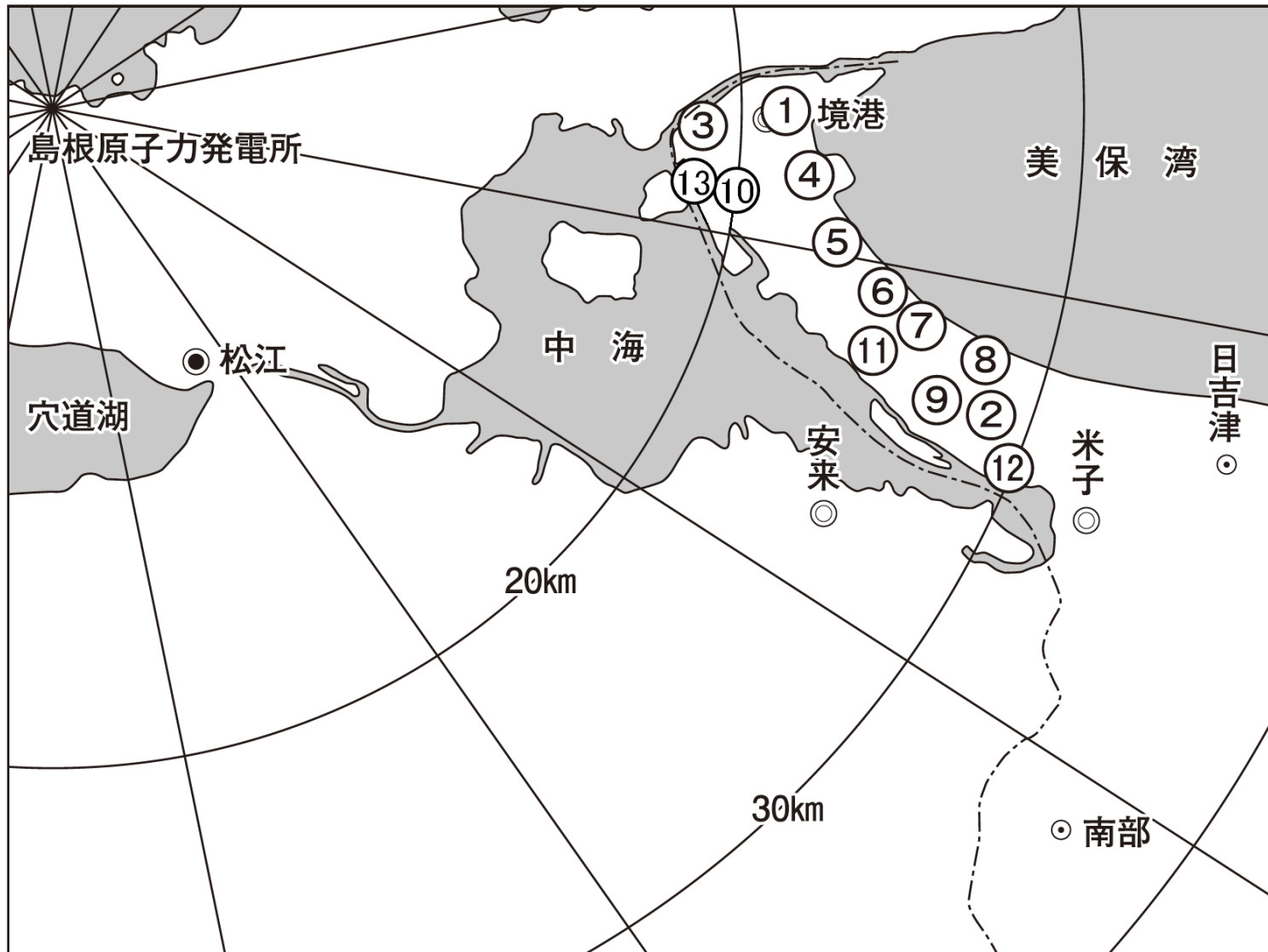


固定局 (境港局)



可搬型 (外江公民館)

【図 1 - 1 調査地点】



## <測定地点>

	測定地点	種類
①	境港市上道町(境港局)	固定型
②	米子市河崎(米子局)	固定型
③	境港市外江町(外江公民館)	可搬型
④	境港市竹内町(余子公民館)	可搬型
⑤	境港市財ノ木町(中浜公民館)	可搬型
⑥	米子市大篠津町(大篠津公民館)	可搬型
⑦	米子市和田町(和田公民館)	可搬型
⑧	米子市夜見町(夜見公民館)	可搬型
⑨	米子市彦名町(彦名公民館)	可搬型
⑩	境港市渡町(渡駐在所)	可搬型
⑪	米子市大崎(大崎駐在所)	可搬型
⑫	米子市旗ヶ崎(旗ヶ崎駐在所)	可搬型
⑬	境港市渡町(光洋の里)	可搬型

鳥取県が、令和4年度までの調査結果を  
検討・評価したところ、島根原子力発電所による  
環境への影響は認められませんでした。

令和5年度(9月までの速報値)についても、  
昨年度までと同程度の数値を示しています。

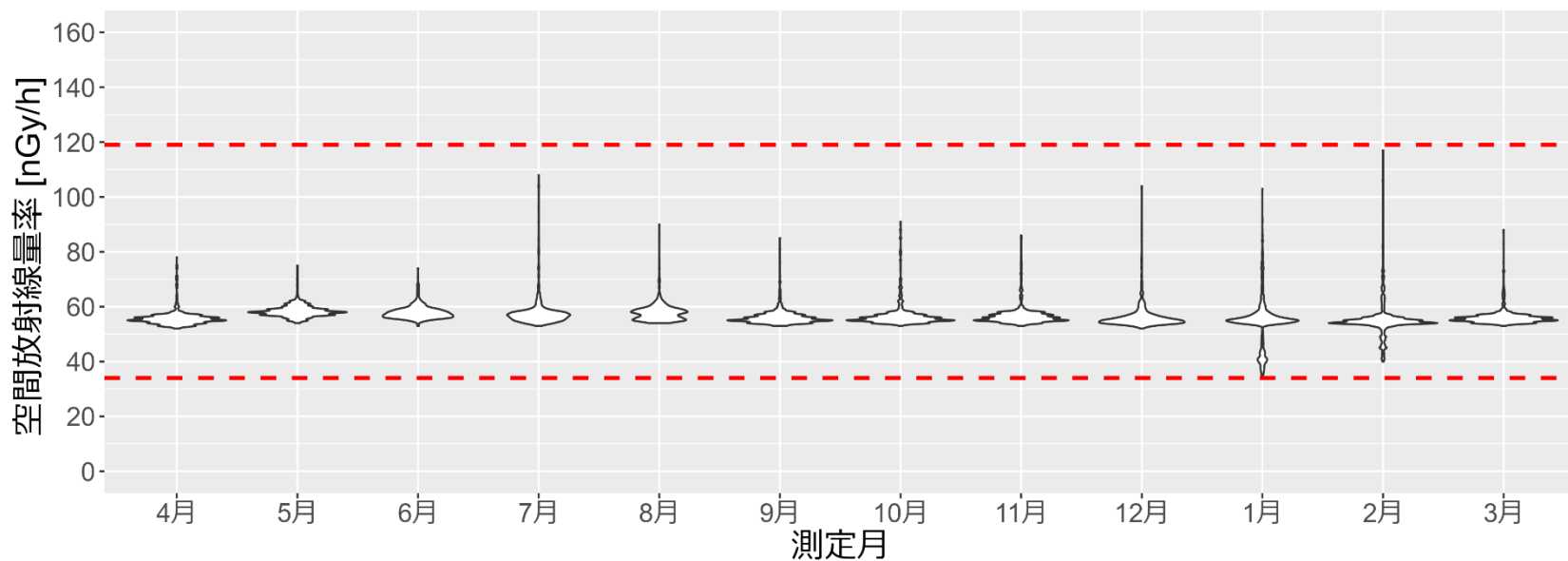
#### 安全協定の通報基準

中国電力との安全協定の通報基準値は、220ナノグレイ/時(nGy/h)です。  
島根原子力発電所の敷地境界のモニタリングポストが、この値を超えると  
中国電力から直ちに県・市に連絡が入り、上昇した原因を調査します。

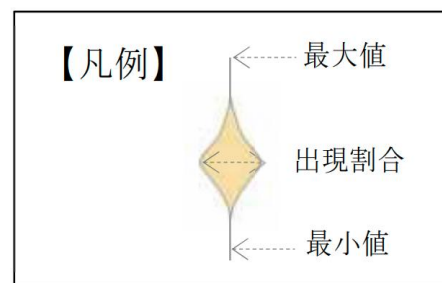
また、この値は、国が法律で定めた通報基準値5,000nGy/hよりも低い数値で、  
人体に影響を与えるレベルより、はるかに低い値です。

# 令和4年度環境放射線等測定結果

## 【空間放射線量率（固定型）】

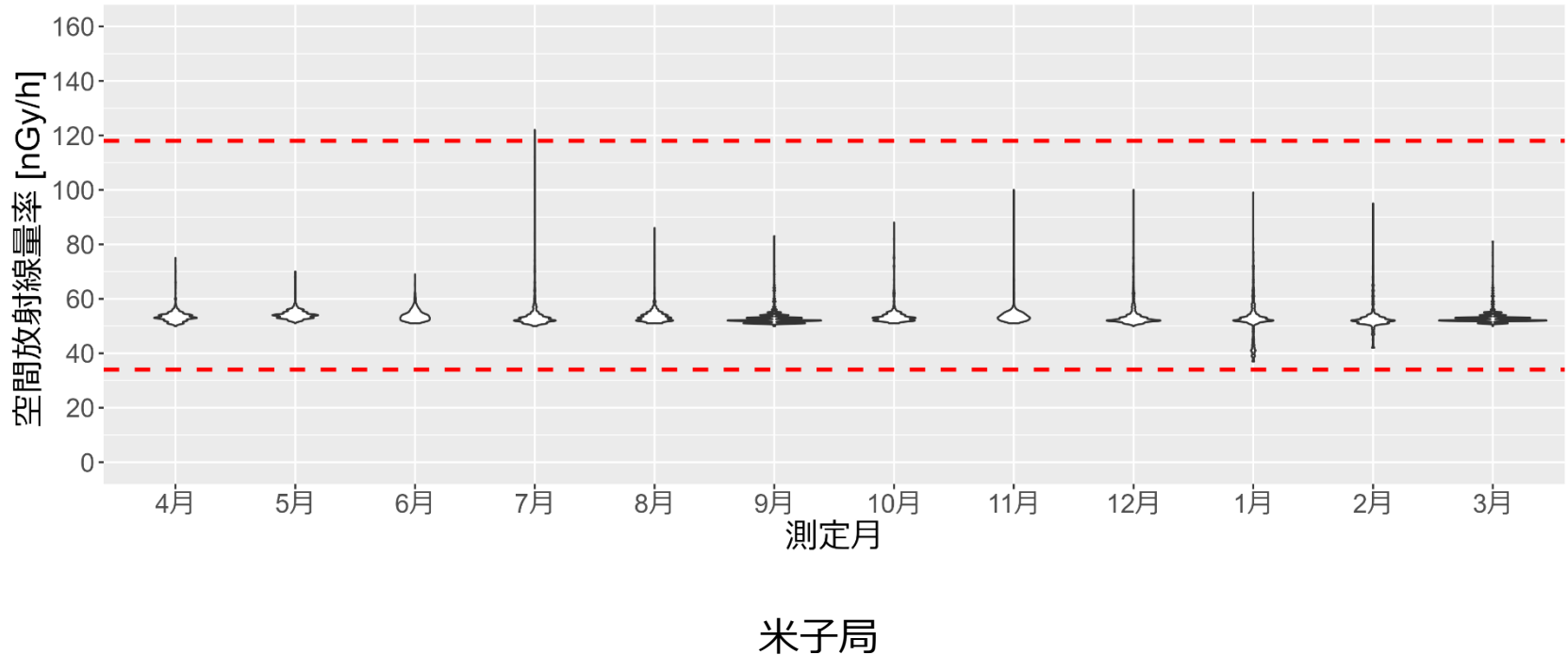


境港局



「令和4年度環境放射線等測定結果（島根原子力発電所及び人形峠環境技術センター周辺）、令和5年8月、鳥取県」から引用

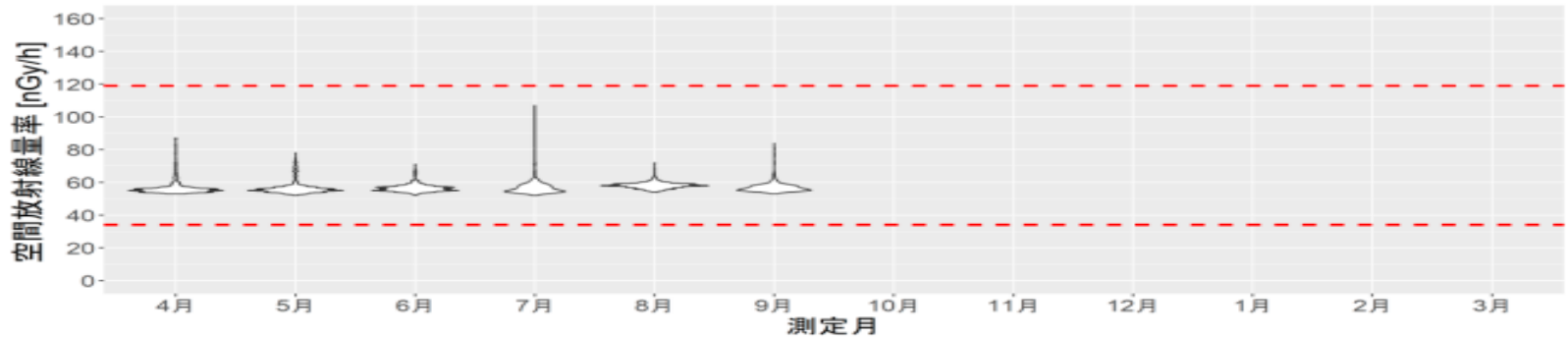
## 【空間放射線量率（固定型）】



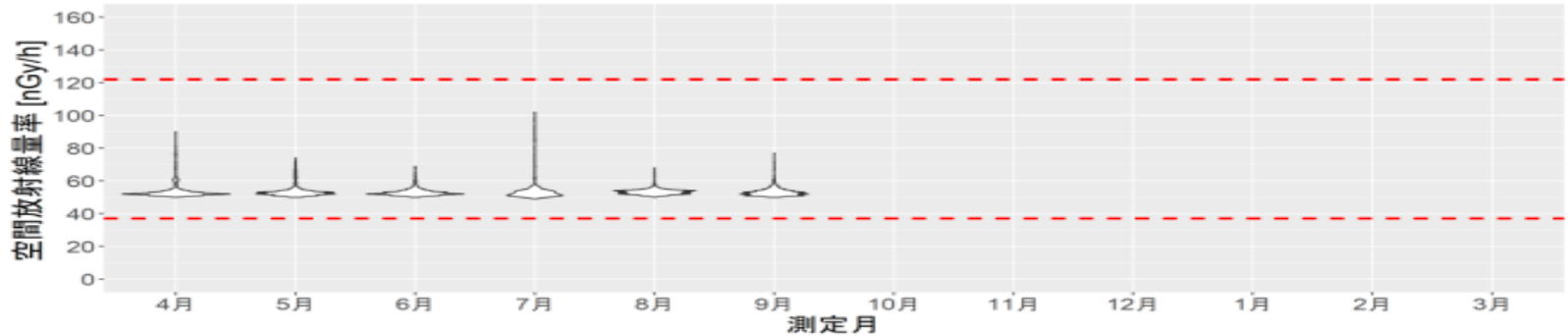
米子局については令和4年7月に平常の変動幅の上限(118nGy/h)を超過する線量率(122nGy/h)が観測された。平常の変動幅の上限を超過した要因調査の結果、原子力施設による影響ではなく、降水時の上昇によるものと考えられた。

# 令和5年度環境放射線等測定結果（速報）

## 【空間放射線量率（固定型）】



境港局

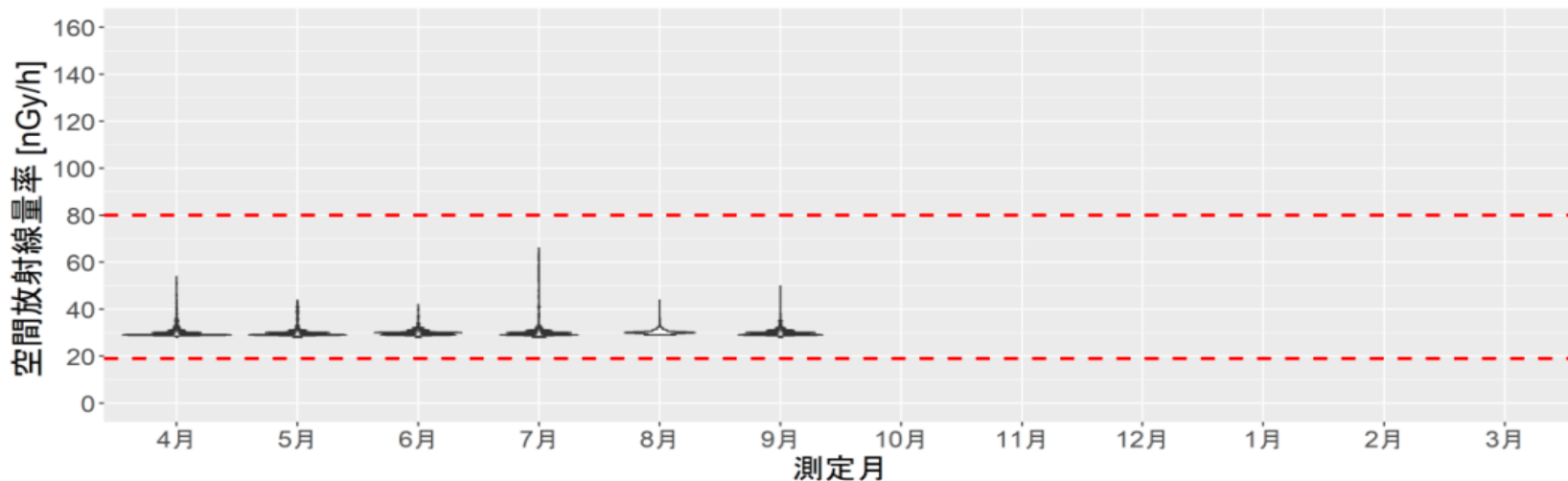


米子局

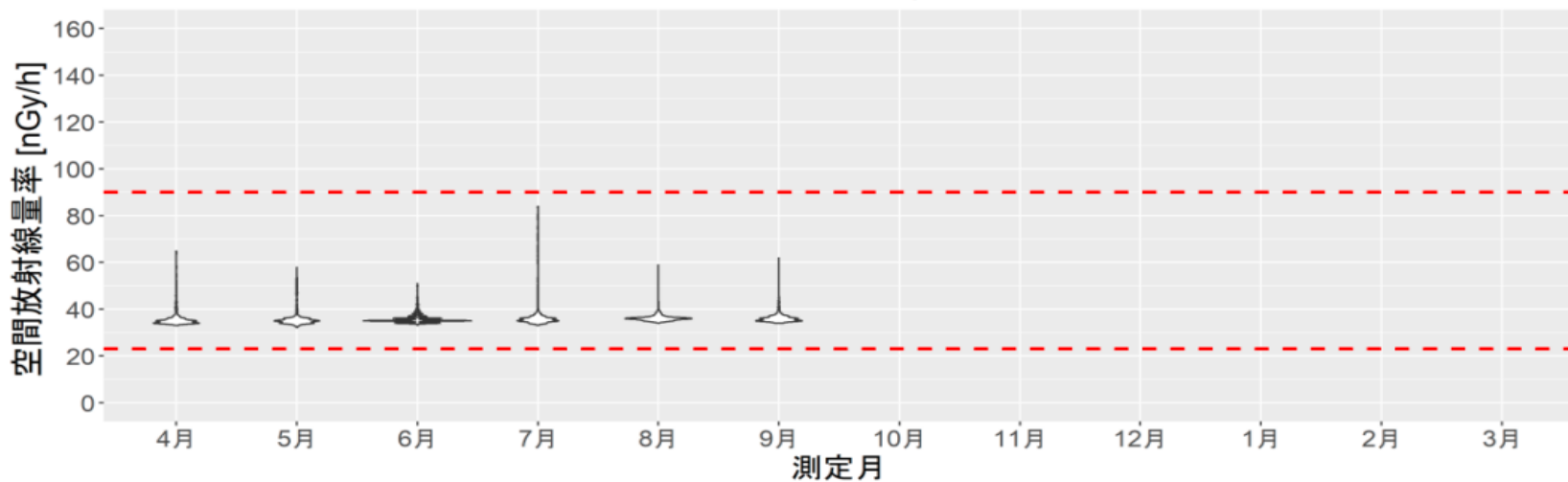
固定型モニタリングポスト2地点ともに平常の変動幅の範囲内であった。

## 【空間放射線量率（可搬型）】

緊急時の可搬型モニタリングポスト7地点の空間放射線量率連続測定結果は、全て平常の変動幅の範囲内であった。



外江公民館



余子公民館